

親子で読んでほしい絵本大賞

美しい絵本大賞

発表



「親子で読んでほしい絵本大賞」が JPIC 読書アドバイザー104人の投票により決定しました。大賞を含む入賞12作品と、それらに寄せられた推薦コメントを紹介し、また、今回新設した「この本読んで! 読者賞」には、124人の読者のみなさまが投票に参加してくださいました。「読者賞」に選ばれた3作品も発表します。

撮影 / JSKURIA (コメントを寄せていただいた方の敬称略、開不開)

★迫力のある絵で描かれた、厳しい大自然の中の動物たちの命の営み。そこには神々しいほどの美しさを感じます。現代人が忘れてしまった「命の重さ」が伝わってくる絵本です。
(25期 竹村安恵子)

★大自然のいのちのつながりが淡々と描かれた作品です。2頭のヘラジカの絡まった角が語る物語は、厳粛な感動を呼び起こします。その下に生まれた新しいいのちの誕生にはほっと終わるものもすてきです。
(22期 上田明子)

★内容はもちろん、作品誕生にも、壮大な物語がありました。
(1期 クリちゃん)

★なかなか手にとりづらい表丁の絵本ですが、星野さんの写真に閉じ込められていた物語が鮮やかによみがえったような、素晴らしいコラボ絵本だと思います。
(23期 矢野幸子)

★絵本をあまり読まなくなってきた小学生になっても、この本を開いて自然生物のことを考えてほしいと思いました。そして1枚の写真から生まれた世界について感じたこと、考えたことをぜひ親子で話し合ってください。
(10期 江口陽子)

★北の大地で暮らすヘラジカは、ぶつかり合っているうちに角がはずれなくなりました。自然は過酷です。星野澄夫さんの珠した写真から、鈴木まもるさんが物語を紡ぎ、絵本にしてみました。ありがとう!
(3期 大塚久美子)

★2頭のヘラジカ。アラスカに生きる動物たちの姿に心打たれます。水の流れる大地に突き刺さるヘラジカの頭骨。星野さんが撮った裏表紙の写真には、ただ息をのみます。
(23期 原田早苗)

★衝撃を受けた本。自然界の厳しさ。命をかけた闘い。弱肉強食の世界。自然の摂理。死もたくさんの命を生かすことにつながります。子どもたちには衝撃が強いかもいれないけれど、生きることにについて考えるきっかけになる本です。
(20期 越智由美子)

★複雑に絡み合った骨から想像される命の物語。生きるための壮絶な闘いと、自然の中での生命のつながりに心が揺らびられます。読後に買える裏表紙のヘラジカの角の写真が印象的です。改めて生命のドラマを強く語りかけてきます。
(22期 ここあ)

★大自然でのドラマと生命のつながりを伝えてくれる絵本。コロナ禍の今こそチマチマしたことは置いておいて、星野さんのほかの写真絵本も一緒に親子で読んでほしいです。
(16期 森和子)



1位

『あるヘラジカの物語』
原案 / 星野通夫
絵・文 / 鈴木まもる
1,500円 (あすなろ星房)

あるヘラジカの物語

親子で読んでほしい絵本大賞とは

親子でもっと絵本を楽しんでほしい! いい絵本を親子に届けたい! との思いを込めて、JPIC 読書アドバイザークラブ(JRAC)により創設されました。選出方法: JRAC 会員40名からなる選考委員が「この本読んで!」2020年春号~冬号の4号で紹介された新刊絵本400冊の中から大賞候補作12作品を選出。それを、JRAC 会員有志が読み、12作品の中から1~3位を選んで投票しました。

※ JPIC 読書アドバイザークラブについての詳しい説明は、P59下部に記載しています。



連動フェア実施!
この特集で紹介した絵本のコーナーが以下の書店に設けられます。くわしくは下記までにご予約ください (東京都港区)
03-3565-6232
こどもの宝の店 ともたち
〒107-8331 東京都港区赤坂1-10-1
045-561-5815